

先達からのメッセージ

～事業を育てた心のあり方～

経営者の挑戦は、日々の選択の連続です。正解が見えない場面でも、自分の軸を確かめながら前に進む。その積み重ねが、やがて人を惹きつけ、道をひらいていきます。先達から、静かなエールを贈ります。



株式会社 TAMOTSU Group
会長 山下 健治さん

グループを通して、故人の尊厳を守りつつ、産業廃棄物と環境負荷を減らし、SDGsに沿った持続可能な葬送文化づくりに貢献。地域の安心を支える株式会社TAMOTSU Groupを作りあげた創業経営者(20代で脱サラ、30歳で起業)山下さんからのメッセージです。

株式会社 TAMOTSU Groupの開発商品

LABO棺 金具・釘を使わない棺を開発し、約20個の特許を取得。火葬時の金属残渣や炉の負担、環境悪化の要因を抑制。

保のゼロ 脱臭消臭や腐敗抑制効果をもち、ドライアイス削減に寄与する人畜無害の新素材開発。

〈山下さんから一言〉…弊社はお棺製造会社でも葬儀社でもありません。全国のお棺製造会社、火葬場、葬儀社の方々のご協力を頂きながら、故人の尊厳を守り、日本全国の取引先様の皆様と環境改善に寄与し、共に発展していきたいと願っています。

法人をつくる手続きは、驚くほど淡々と進みます。書類を揃えて法務局に出し、社名が決まる。そして国の書類の片隅に、代表取締役として名前が載ります。そこから人は「代表取締役」と呼ばれるようになります。

でも、その肩書き以上に、背負う責任はとて重いのです。名乗るだけなら誰でもできます。けれど、誰にでも背負えるものじゃない。これは経験してよく分かりました。

国のために。国民のために。言葉通りの生き方を本気でやろうと思ったら、日々を削るくらい働いて、逃げ場のない努力を積み重ねるしかありません。これは、「会長」「社長」と印刷された一枚の名刺にたどり着くまでの、長くて静かで、そして孤独な物語です。

日本列島の南の端。里山の小さな小学校で、将来の夢を一人ずつ発表する時間がありました。医者、パイロット、警察官、先生…。黒板の前で話られる夢は、どれも立派で、どれも無難でした。そして私の番が回ってきました。

「社長になります」
その瞬間、教室が笑いに包まれました。悪意があったわけではないと思います。田舎の学校では「社長」という言葉自体、あまり身近じゃなかったでしょう。でも、胸の奥にひやっと冷たいものが落ちたのを覚えています。

なぜ笑われているのか、当時の私は分かりませんでした。分からないまま、机を思い切り叩き

ました。乾いた音が教室に響き、ざわめきは瞬で消えました。あの沈黙。今思えば、あれがすべての始まりでした。

中学に入る頃、「社長」は夢というより「問い」になっていきました。社長とは、いったい何を人間なのか。私は歴史の中に答えを探し始め、戦国武将たちを「社長」として読み替えるようになり、また。

徳川社長。豊臣社長。武田社長。彼らの夢や野望、恐れや決断。組織を束ね、敵を見極め、勝ち筋を描く。その手腕が面白くて、面白くて、ページをめくる手が止まりませんでした。組織とは何か。戦略とは何か。人を動かすとは、どういうことか。そういうことが、血の通った物語として胸に入ってきました。

高校に入る頃には、さらに視線が先へ伸びていきました。社長という肩書きの、その向こう側です。経営者とは何か。人間とは何か。人はなぜ、人の上に立つのか。戦国武将と昭和の大物政治家。時代も立場も違いますが、共通しているものがありました。それは「大将として生きる覚悟」です。成功の形じゃありません。生き方の芯です。その芯を探す時間は孤独でした。でも、不思議と、それがただただ楽しくもありました。代表取締役という立場にたどり着くまで、私は多くの人や出来事に会い、経験を重ねました。

戦国武将たちの思想。大物政治家たちの光と影。仏神の尊厳と、魂に刻まれる教え。仏が

現れたかと思えば、人の顔をした闇が現れることもありました。それでも私は逃げませんでした。屈せず、胸を張って立ち続けました。

かつて訪れた中洲の老舗クラブで、あるホステスが、私にこう言ったのです。「会長のお連れの方って、会長の呼び方が本当にいろいろなですね。兄貴、博士、師匠、社長、会長、先生、恩人…。前のお客様は、何でも創り上げられる宇宙人って呼んでましたよ」その場は笑いに包まれました。

でも私は、そのとき静かに思ったんです。人は肩書きだけで人を見るわけじゃない。生き様によって、呼び名が変わることもある。そうやって自分の姿勢と生き方をもう一度見直しました。

地位や立場よりも、先に問われるものがあります。それは信念です。それは姿勢です。それは、生涯を通して変わらない在り方です。その積み重ねの先に、組織ができて、商流が整い、物流が動き、経営が成立していきます。

経営者として学んだのは、社会の構造、人の構造、そして経営哲学です。同時に、人間として学んだのは、人柄の大切さでした。会社の大きさや規模の話ではありません。

地域社会に貢献すること。社員の幸せと、事業を続けていくこと。それが続く限り、経営の物語は終わらないと信じています。今日もどこかで、信念にこだわりながら、経済という道を歩いています。

ある名刺にたどり着くまで

Information

株式会社 TAMOTSU

〈本社〉〒810-0041 福岡市中央区大名2丁目9-29
TEL 092-406-2318 FAX 092-406-2319

〈東京支社〉〒135-0002 東京都江東区住吉2-1-14-101
TEL 03-5638-0177

<https://www.tamotsu.work/>

お問い合わせは
コチラから。
山下会長への
メッセージも!

